

# 議会だより そとがはま

第76号

令和6年5月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

6月6日(木)~11日(火)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



**入学おめでとう！（令和6年4月8日、三厩小学校入学式）**

## 目次

○第149回3月定例会／2～10

○一般質問：8議員が登壇／11～22

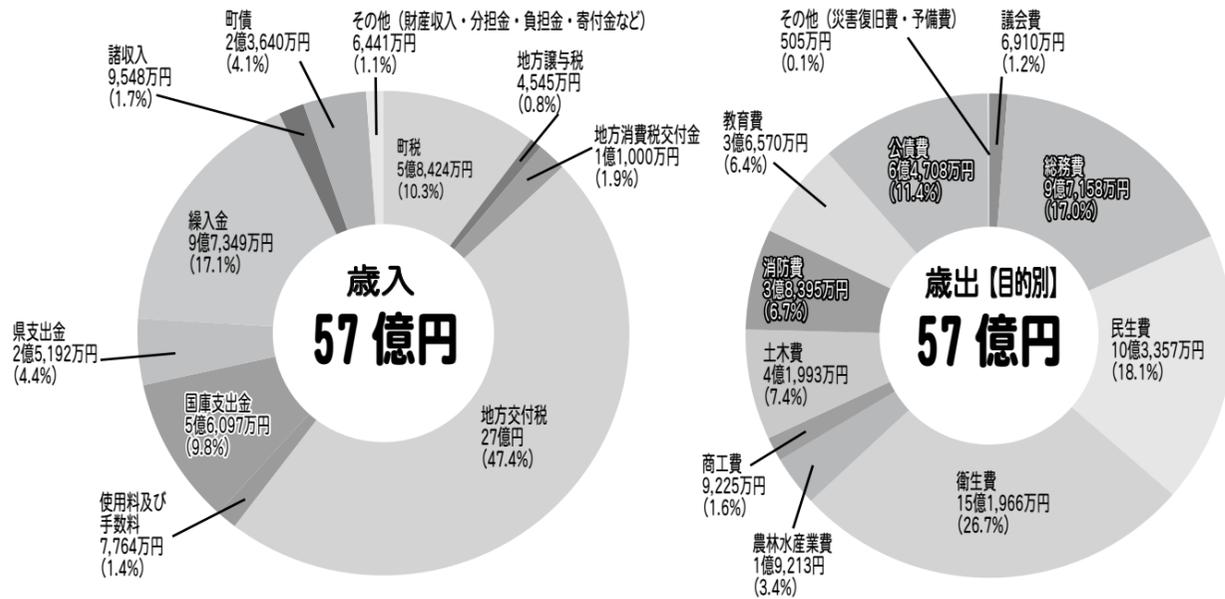
○令和5年度採決結果一覧ほか／23

○議会にお越しく下さい／24

# 一般会計・特別会計・企業会計

# 令和6年度予算総額 102億4,204万円 を可決

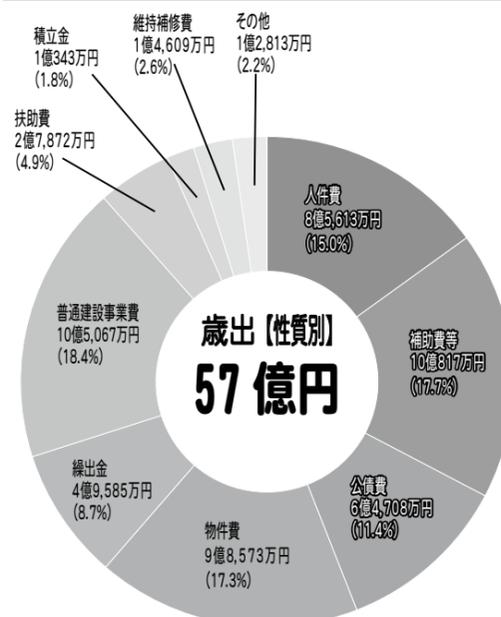
## 一般会計予算の内訳



## 一般会計歳出の主なもの

廃棄物処理施設基幹改良事業	8億2,545万円
橋梁補修工事(藤島5号橋、黒岩橋)	4,680万円
給食業務等委託料(給食費無償化)	3,873万円
藤島川河川改修工事	3,000万円
町立小中学校空調設備設置工事	2,970万円
三既中学校改修工事	2,332万円
道路舗装補修工事(蟹田大平線)	2,220万円
水産業振興事業(ホタテ貝採苗対策事業費補助金等)	1,712万円
各種予防接種事業(インフルエンザ・風疹等)	998万円
移住支援事業交付金	500万円
空き家等解体支援補助金	500万円
住宅リフォーム支援事業補助金	200万円
不妊治療支援助成金	10万円

## 一般会計歳出(性質別)



予算特別委員会(戒修委員長)は、3月8～12日の5日間にわたって開催され、一般会計と7つの特別会計、3つの企業会計について慎重に審査しました。ここでは、当初予算の状況を掲載するとともに、特別委員会の審査の中から主な質疑をとりあげ、内容を要約してお伝えします。

**一般会計57億円に**  
**(前年度より2億8,000万円増加)**

第149回定例会は、3月7日から13日までの7日間の日程で開催し、令和6年度各当初予算案、令和5年度各補正予算案、町条例の一部改正・廃止案、人事案件、報告案件などを審議しました。令和6年度の一般会計、特別会計、企業会計の当初予算案については、予算特別委員会を設置し、集中審査の結果、全て原案のとおり可決しました。人事案件では、副町長に松橋稔氏を選任することに同意しました。また、議員発議として「再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)を求める意見書」の提出について、原案のとおり可決しました。一般質問は8人の議員が行いました。詳細は登壇順に11～22ページに掲載しています。

**令和6年度予算を予算特別委員会で慎重に審議**

### 令和6年度一般・特別会計の予算額(歳出)

会計名	令和6年度	歳出の前年度比
一般会計	57億0,000万円	5.2%
国民健康保険特別会計	9億6,800万円	▲4.5%
介護保険特別会計	12億600万円	▲1.8%
大字費特別会計	90万円	▲30.2%
平館財産区特別会計	0万円	0%
根岸財産区特別会計	0万円	0%
野田財産区特別会計	0万円	0%
後期高齢者医療特別会計	1億1,900万円	12.3%
合計	79億9,390万円	2.9%

※平館・根岸・野田財産区特別会計は2千円のため0万円と表記しました。

### 令和6年度企業会計の予算額(歳出)

会計名	令和6年度	歳出の前年度比
病院事業会計	13億5,090万円	12.3%
簡易水道事業会計	4億5,268万円	▲4.0%
下水道事業会計	4億4,456万円	1.0%
合計	22億4,814万円	6.3%

ただいま（女性）

一般会計

地域おこし協力隊

**問** 柳谷隆男委員／新しい年度に、地域おこしの協力隊員として来る予定があるのか。

**答** 企画政策課長／地域おこし協力隊の事業は、これから動いていくことになる。内容としては、特産品等のブランド化をメインにし、また、町の情報発信をするプロモーションをやっている人材も募集していきたいと考えている。

移住支援について

**問** 福井洋一委員／若い世代の方々に外ヶ浜町を選んでいただくために、ワーケーションやテ

レワークなどを積極的に取り組んでいる。今年度の交付金が前年度の2.5倍の500万円になった。どの団体に対して交付するのか。

**答** 企画政策課長／これは、団体に交付するというものではなく、移住されてきた本人へお支払いする制度になっている。

**問** 福井洋一委員／当町には、農業法人のアーグライズをはじめ、農協、漁協等がある。その方たちと協力して、働く場所の魅力づくりなど、ぜひ協議して創出していただきたい。

**答** 企画政策課長／人材不足、後継者不足の対応等も気にしていかなければならない部分かと思うので、今後は、各関係団体と話をし、人数を把握しながら、皆さんと相談し、やっていきたいと考えている。

高齢者も働ける環境づくり

**問** 安藤英博委員／現在、福祉施設の介護員、また、資格がなくても補助員など、今別町からも募集チラシが我が町に入ってきている。それぐらい人が足りない状況である。ホタテ作業の漁業者の方々が、人が見つからなくて大変で、80歳過ぎても働かなければならぬという声もある。そこで、我が町でも60代、70代前半のまだまだ働きたい方々に対して、漁協と連携して単純な作業や軽い仕事など、漁業者の力になることを考えられぬか。

**答** 福祉課長／漁協との連携ということだが、この件については今初めてお伺いした話になるが、それぞれ事業者は個別に人材を探していると思っ

ている。60代、70代の方

で漁業をやってみたいという方であれば、現にもう仕事には就いている状況だと思うので、今後、そういう働く意欲のある高齢者が働けるような環境づくりを、福祉課のみならず他課とも連携しながら取り組みを進めていきたい。

エンゼル育成金第2子にも支給を

**問** 福井洋一委員／第3子出生の方に、小学校入学時、中学校入学時にそれぞれ10万円を支給するというものであるが、今回の予算120万円について、それぞれの対象者は。

**答** 福祉課長／想定出生児数が1名で見ている。また、小学校入学者については2名、中学校入学者は9名、合計12名を見込んでいます。



**答** 福祉課長／第2子からということであれば、少子化対策ということでは有効であるかとは思うが、現状、財政との兼ね合いもあり、検討はしていない。

対漁業へのつらい手

**問** 浜谷恭市委員／青森県内の佐井村で、漁師縁組という事業をやっている。日本全国どこからでも、漁師になりたい人を募集している事業で、現在5名いるそうで、テレビでも大々的に取り上げられていた。我々の町も漁業の町である。やはりこういう先進事例を見習って、どんどん若い人たちを連れてきてほしい。高齢化が進んで、船を使わなくなり、解体するのにも困っている人たちが多数見受けられる。そういう状況を解消するためにも、佐井村の事例を見習い、対策を進めていければと思うが、町の考えを伺う。

**答** 産業観光課長／佐井村では、いろいろな事業を展開している。当

蟹田川浚渫工事について

町も、労働力、そして担い手などの課題がたくさんある。まずは、ホタテ、もしくはマグロ、ウニ、いろいろな事業があるので、それらの収入のことも含めて、外ヶ浜町の水産業、農業の魅力的な部分を、生産者、そして漁協、農協の方たちとも話し合いながら、発信していきたいらと考えている。

**問** 鈴木進委員／今年度完了した。約200メートル上流が、30から40メートルぐらいにわたって堤防が低い。それで、一

昨年の災害時にはそこが崩落した。また、昭和43年の災害時には、同じ場所から本町地区が冠水した。土手のかさ上げをすることにより、災害に強い本町地区になると思



現在の蟹田川の様子

**答** 建設課長／県の担当者に、図面で示しな

がらお願いしていきたい。

外ヶ浜分署の建て替えについて

**問** 石岡勉委員／先日、建設場所についての説明が私どもにあった。中師館ノ沢地区を候補地に示された。その土地には、過去に観瀾山からの土砂崩れが何箇所かあった。また、上に使っていないため池があり、機能はほとんどしていないため水が垂れ流しの状況であり、過去にもすごい水量が流れてきたことがあった。そういう水害対策や土砂崩落について、町ではどのように捉えているのか。

**答** 総務課長／ため池の件は委員会でも話に上がり、現地に向いて調査した結果、今は問題ないと判断した。また、ここ数年の大雨の際も、そこから氾濫したという

小中学校へのエアコン設置について

**問** 横山拓雄委員／各小学校、中学校、どの教室に取り付けるものなのか。

**答** 学務課長／現在、予定しているのは全ての学校で、普通教室、音楽室、校長室、職員室に設置する予定である。

**問** 横山拓雄委員／各学校の光熱水費に、その使用の程度の見込みはあるのか。  
**答** 学務課長／空調に関する電気料はまだ計上していない。どれくらいかかるかまだ分からないので、折を見て計算し、補正予算で対応することになると考えている。

国民健康保険  
特別会計

特定健診の受診  
率向上に向けて

**問** 石岡勉委員／特定健診の受診率を高める努力として、町当局は今年どういうふうを考えているのか。

**答** 住民課長／特定健診の受診率について、概算で今わかっている数字だが、令和4年度の国保の受診率は31・8パーセント、令和5年度はまだ12月だが31・1パーセント、若干下がっている状態にある。後期高齢の受診率も、令和4年度は18・5パーセントに対して、今年度は18パーセントということで、若干下がっている状況である。

昨年まではコロナ禍の関係で、医療、健診において受診控えが確かに見受けられた。以前であればただチラシをまいて受診してくださいと周知していた。近年は、特定健診については個別の通知を出している。未受診の場合、受診をするよう勧奨の通知を出している。そのほか、受診後に精密検査を受けた方、保健師の指導を受けた方には、お米などの健康食品を提供している。受診すればお得だということをPRしながら、特定健診等の受診率を上げていくために、現在取り組んでいる。今後も、さらに魅力的な部分を考えていきたい。



介護特別会計

介護特別会計  
利用日数について

**問** 安藤英博委員／現在、介護保険を使ってデイサービスで回数を増やしたくても、収入の面から厳しいという方もいる町として、このような高齢者や一人暮らしの方々に、利用日数が増やせるという状況になっているのか。

**答** 福祉課長／サービスの利用日数を増やしたいことに関しては、介護保険制度上において、その介護度によって、月に利用できる給付費の限度額が定められている。介護度が上がった場合には、その都度変更申請をしていただき、その分の利用日数も増やせるという状況になっている。

後期高齢者医療  
特別会計

後期高齢者医療  
特別会計  
医療費減免等の  
支援について

**問** 安藤英博委員／年金で生活している方々は、物価が上がっても年金額は上がらない中で、保険料の支払いで大変苦労している。我が町として、生活が大変な方々に、減免などの支援する対応を考えているのか。

**答** 住民課長／後期高齢者医療制度について、事業運営は連合会のほうで一括でやっており、現在、町独自の対応策というのには行っていない。支払うのが困難な場合には、1カ月の金額を少なくするなど、相手と相談しながら納付をしていただくよう取り組んでいる。

病院事業会計

病院の運営について

**問** 石岡勉委員／昨年からは、病院を利用して、いる人に言われるのだが、最近、内視鏡カメラでポリープが見つかった場合、以前は取っていたが、今は取らない。そういう方針なのかとよく聞かれる。外ヶ浜中央病院でやれるものであれば、医療収益を上げるべきではないか。病院運営を考えた場合、収益にプラスになるのであればやるべきだと思いませんか。

**答** 中央病院事務長／あくまでもドクターが判断して、自院でできるものはやる、難しいとなれば紹介するという方針になると思う。

国民健康保険  
特別会計

安藤 英博 議員

**反対** 国民健康保険の加入者は、自営業、年金生活者など多くの方々が加入している。今日、物価高など、生活が大変という声が多くの方々から寄せられている。国保税をやりくりしている町民の方々、弱い立場の方々を守っていく必要がある。高い国保税を引き下げるために国庫負担を増やすこと。国に働きかけ、外ヶ浜町の将来を担う全ての子どもへの均等割をやめて、子どもがいる世帯を支援することが必要である。このことを強く求めて実行していただくよう申し上げます。反対討論とする。

【賛成8・反対2で可決】

介護特別会計

安藤 英博 議員

**反対** 介護保険料は3年ごとに料金が上がり、利用者負担の増大と内容の削減が続いている。内容の削減、デイサービスの回数を減らし、弁当の配食サービスの利用回数を減らして暮らしている高齢者の方々、福祉施設に入所したいが、4万円から5万円の年金ではとても利用できないという話を聞く。不安なく老後生活を送れる高齢者福祉の充実のために、町独自施策を進めること、介護保険料の引下げや減免を実施することを求める。そのために町は努力することを強く求め、反対討論とする。

【全会一致で可決】

後期高齢者医療  
特別会計

安藤 英博 議員

**反対** 75歳を迎えた高齢者を、これまでの医療保険から強制的に追い出して負担をさせることで、国の公的医療費を削っていくという制度そのものに強く反対する。年金収入が少ない高齢者からは、保険料を払うのも大変だという声が多く出されている。命に向き合う責任を一線に担っているのは市町村である。あらゆる工夫や努力をしているのは自治体、役場職員だからこそ、高齢者の実態と現状を実感していることと思う。そのことから、国に対して、定率国庫負担割合の引上げの検討を強く要望し、反対討論とする。

【賛成9・反対1で可決】

専決処分

専決処分した事項の報告  
及び承認を求める件

◎報告第1号  
令和5年度外ヶ浜町一般会計補正予算（長期化したつある物価高騰による影響を受けている低所得者への早期の支援、及び、土砂堆積により危険性が増大している河川の浚渫費用について、緊急に予算措置を要するため。）

◎報告第2号  
令和5年度外ヶ浜町一般会計補正予算（長期化したつある物価高騰による影響を受けている住民税均等割のみ課税世帯への早期の支援について、緊急に予算措置を要するため。）

◎報告第3号  
外ヶ浜町手数料条例の一部を改正する条例（令和6年3月1日に「戸籍法の一部を改正する法律」の規定が施行となることに伴う地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に準じて、外ヶ浜町手数料徴収条例の一部を改正し新たな手数料等を定める必要があり、緊急を要するため。）

一般会計補正予算

大平山元遺跡展示施設  
の維持管理費について

柳谷隆男議員／史跡  
整備補助金で130  
0万円、県支出金として  
679万円、合わせて大  
平山元遺跡に2000万  
円以上くることになって  
いる。ガイダンス施設が  
4月26日にオープンし、  
令和7年、8年あたりに、  
世界遺産という位置づけ



大平山元遺跡展示施設「むもん館」

で、国や県から施設を維  
持していく補助金等があ

るのか。  
答 社会教育課長／今の  
段階では補助金があ  
るかどうかが確認してい  
ないが、今後そういう補助  
金があれば利用してい  
きたい。

下水道事業会計  
補正予算

処災  
理害に時  
つの下  
て水

問 戒修議員／能登半島  
の地震で被災された

3月補正予算の状況

●一般会計・特別会計

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	6億5,249万2千円	68億2,303万1千円
国民健康保険特別会計	▲7,468万8千円	9億4,486万5千円
介護保険特別会計	▲5,253万3千円	11億9,480万2千円
大字費特別会計	▲6万9千円	132万6千円
後期高齢者医療特別会計	300万4千円	1億1,138万円

●企業会計

会計名	補正額	補正後の予算額
病院事業会計 (収益的収入支出)	▲2,620万円	10億2,380万円
病院事業会計 (資本的収入)	▲978万6千円	1億6,953万8千円
病院事業会計 (資本的支出)	▲34万9千円	2億1,009万1千円
簡易水道事業会計 (収益的収入支出)	23万2千円	2億5,717万9千円
下水道事業会計 (収益的収入支出)	3,352万2千円	2億2,594万円
下水道事業会計 (資本的収入)	1,492万1千円	1億2,929万6千円
下水道事業会計 (資本的支出)	▲561万4千円	1億9,533万1千円

方が避難所に避難してい  
るが、下水道の問題が非  
常に大きいと聞いている  
し尿を処理することが大  
変だということがある。  
我が町の避難所は、下水  
道のところと合併浄化槽  
のところがある。大きな  
災害になったときは、公  
共下水道は被害を受ける  
可能性が非常に大きい。  
今後も、下水道が計画ど  
おりに全部なっていくと  
思うが、今まで使ってい  
た合併浄化槽は使えない  
ようになるのか。それと  
も何かあったときには使  
えるような対応はできる  
のかどうか。

答 建設課長／下水道に  
ついては、今後新た  
に整備計画を広げる計画  
はなく、現在、下水管に  
接続されている避難所は、  
蟹田中学校、役場、中央  
公民館、旧平館小学校、  
旧平館中学校、三厩小学  
校となっている。それ以

外の箇所については、今  
後、下水道に接続する計  
画はなく、そのまま合併  
浄化槽で使用することに  
なる。

答 町長／少し別の面か  
ら補正をすると、合  
併浄化槽がなくなってい  
ても、災害時にトイレを  
すぐ使えるかどうかは非  
常に難しいと考えている。  
まずは水道が使えるか使  
えないか、使っても大丈  
夫となるまでは凝固剤み  
たいなトイレを使ってい  
ただくことのほうがいい  
かと思う。トイレに行っ  
て、流せないのに流して  
しまつてあふれるという  
状態で、避難所の衛生状  
態がより悪くなるという  
ことが非常に多くあるの  
で、最初の何日か、下水  
道が大丈夫かどうか、水  
が分かるまでは、流さな  
いということも必要だと  
考えている。

3月定例会において審議・可決された条例案

- 外ヶ浜町公共施設整備基金条例案
- 大平山元遺跡展示施設むもん館設置条例案
- 外ヶ浜町平館交流センターの設置、管理等に関する条例案
- 外ヶ浜町犯罪被害者等支援条例案
- 外ヶ浜町役場位置条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町監査委員条例等の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
- 単純な労務に雇用される外ヶ浜町職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町総合福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町公民館の設置、管理等に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町介護保険条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町生活支援ハウス運営事業に関する条例の一部を改正する条例案

- 一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町湯の沢温泉の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町介護保険法に基づく地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町三厩健康増進センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 外ヶ浜町大山ふるさと資料館設置条例を廃止する条例案
- 外ヶ浜町大平山元遺跡広場の設置、管理等に関する条例を廃止する条例案

たき火(仮)

（大平山元遺跡展示施設  
むもん館設置条例案）

問 安藤英博議員／通常  
大人1人300円  
のところ、20人以上の団体  
の場合、大人1人200  
円とあり、公益上必要が  
あるとなった場合は、減  
免、免除を認めるとなっ  
ている。20人に満たない  
団体であっても、特別な  
事情があれば認めるとい  
うことで理解しているが、  
その点はどう考えている  
のか。

答 社会教育課長／20人  
以上の団体であれば  
200円という形になる  
が、それ以外の団体に関  
しては、様々な団体があ  
るのでその都度判断して  
いきたい。

問 石岡勉議員／教育委  
員会として公益上必  
要があるというのは、ど



トラックに積まれたホタテ貝養殖残渣

◆質問①の1/初当選時の公約のホタテ残渣処理施設の建設について、現在の町の考えは、  
 ■町長/建設における最大の問題は建設する場所の選定にある。現在においても場所の選定は困難な状況にある。長期的な目線での施策を考え、適切な時期に最適な判断をしたい。  
 ◆再質問/私は処理施設の建設が目的ではなく、効率的、なおかつ漁業者の負担を少なくして処理することだと思ふ。  
 ■町長/漁業者や漁協とも、現在は建設にこだわらないという声が多数になつてきているのかなと思ふ。新たな方法で安価に処理

◆質問①の2/龍飛地区火災跡地の整備については、令和5年度中には一部駐車場の工事が完了する予定になっているが、2月末の時点でいまだ何もやられていない。  
 ■町長/まず、全体計画については、総事業費約6000万円で、内容は、遊歩道25メートル、駐車帯に普通車10台、バス用1台、道を挟んで漁港側にバスの待合室を兼ねたトイレの建設を計画している。今の3月末までに遊歩道の25メートル、駐車帯に普通車4台、身体障害者用1台の工事を発

注しており完成する予定である。全体は、令和7年度の完成予定です。  
 ◆再質問/以前にも指摘したが、階段国道下側のトイレの計画ではあと2年後になる。順序が後先になつても、すぐ何とかすべきと思ふが。  
 ■町長/当初の計画では火災跡地にトイレを置くつもりだったが、地元住民との話し合いで漁港側に変えた。階段国道及び観光の予算からは使えなくなり遅れることになつた。予算の用立てが早くできれば、検討する。  
 ◆再々質問/大平山元遺跡に置いている災害用のトイレを持つてくることはできないのか。



石岡 勉議員

## 新病院の建設は8年後になるのか

答弁▼今後8年間は現病院を使用する

ういうことを想定しているのか。  
**答** 社会教育課長/大学や研究している方でも、研究のために見たいという方もいるので、来た段階でこちらのほうで決定していきたい。  
 (外ヶ浜町平館交流センターの設置、管理等に関する条例案)  
**問** 福井洋一議員/交流センターの管理は教育委員会ですというところになっているが、随分ボリュームが大きい。この交流センターに専属の職員を置くのか。  
**答** 社会教育課長/平館支所の支所機能が入るので、支所にある程度の管理部分等をお願いして、社会教育課が応援するという形で運営していきたいと考えている。  
**問** 福井洋一議員/この交流センターのポリ

ユームを考えれば、支所に片手間にやっていただくというような中身ではないと思ふ。教育委員会として管理していくことになるので、職員を配置していかないと、この場の交流が盛んになつていかない。交流センターという名にふさわしい方向性を考えていただきたい。  
**答** 町長/御存じのとおり職員数が本当に減つてきている。今は働き方改革もある。職員の数が少ない中でどうしていくかということを考えるのと、こういう施設に関する時間を少し制限することも考えていかなければならない時代に入ってきたのかと思つている。今いる職員に関しては一生懸命やってくれているので、これ以上何かするというのは申し上げにくい状況だということを理解いただきたい。

## 工事の請負契約の一部変更

大平山元遺跡ガイダンス施設建設工事

石岡勉議員/1100万円余の工事費が、増額変更になる内容が、増額変更になる内容は。  
**問** 社会教育課長/消防設備・つり戸棚・アスファルト舗装・車止め・展示システム・展示備品製作の追加、ロッカーの仕様変更、内装仕上げの変更、監視カメラ仕様の変更となっている。  
**問** 石岡勉議員/後々追加で出てくるのというのは、当初の見込みが甘いのではないか。  
**答** 社会教育課長/現地で消防の方が見たときに、指摘を受けた部分追加になったので、理解いただきたい。

## 請願

◆請願第1号  
 再審法改正の意見書に関する請願

【提出者】  
 日本国民救済会青森支部 石田 功

【紹介議員】  
 安藤 英博

【本会議での採択】  
 全会一致で採択

本請願を採択したことにより「再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)を求め意見書」が議員発議され、採決の結果、可決された。本意見書は次の方々に送付した。

- 内閣総理大臣 岸田 文雄
- 法務大臣 小泉 龍司

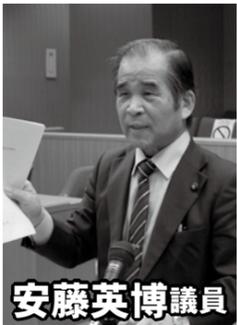
## 外ヶ浜町副町長の選任の件

平成31年4月25日以前副町長が退任されて以降、空席となつていた外ヶ浜町副町長の人事に松橋稔氏が提案され、全会一致で同意した。  
 任期は、令和6年4月1日から4年間。  
 松橋氏は、平成13年に青森県庁に入庁後、県立中央病院、文化・スポーツ振興課、原子力安全対策課、財政課などの要職を歴任され、特に財政課は延べ15年間にわたり勤められた。



松橋 稔氏





安藤英博議員

# 高齢者、障がい者の方々が利用しやすい蟹田駅ホームの改修を

## ■答弁▼J R東日本は地域のニーズや要望を伺いながら今後の対応を

◆質問／蟹田駅ホームの階段の昇降が、高齢者、障がい者の方々とつてたいへんだという声がたくさん寄せられている。町はこのような状況をどのように受け止めているのか。

■町長／階段を上り下りせずに電車に乗れるようにしてほしいという要望は、J Rが実施したアンケートや住民説明会などでも多くの声が出ており、非常に重要な課題であると認識している。

◆再質問／津軽線の復旧対応とは別に、上り下りしなくても利用できる一番線ホーム利用を早く取り組んでいただきたい。また近隣の町村とも力を合わせて、要求していただきたい。

■町長／一番線を直してほしいという声はいろんな会合でも多く、J Rに対し改修を求めていく。また、わんたくについて

に使うことになった経緯がある。

## 外ヶ浜町の人口減少の現状と増加対策について

◆質問／働き手の中心となる15歳から64歳の人口が2050年には461人になると、新聞で報道された。平成17年に新

外ヶ浜町誕生から19年になるが、町村合併時の人口は約8700人でスタートしたが、来年には5000人を下回る。人口減少の主な原因は何か。

■町長／人口の変動は、人口の流入数と流出数の差による社会増減と、出生数と死亡数の差による自然増減の2つの側面

引き起こるが、当町においては人口の流出と少子化が大きな要因となっている。

◆再質問／人口減少の理由として、地元で働くところが少ないことや、低賃金などで町外に行くことなどが考えられるが、他にも理由があったら答弁を求めます。

■町長／賃金が低かったり、雪が大変だとか、人によって様々ある。

◆再質問／人手不足や消費の低下などで、外ヶ浜町の産業や他の分野に今後どのような影響が出るのか答弁を求めます。

■町長／一次産業の分野では、所得が上がるように、例えば商品の高付加

価値化や商品化して売るなど、若い人が定着できるように考えていきたい。

◆質問／将来、この町に住みたいという子どもたちの思いをどう育てていくか、自治体にとって重要な課題である。空き家バンクの事業、農漁業への支援などの対策が必要である。行政と住民組織が一体となって、長期的な計画を立てて取り組むことを提案する。

■町長／おっしゃるとおりで、子育ても大事、高齢の方も大事で、それぞれの住む方々が、この地域で住んでよかつたと思っただけのような施策を進めていくことが大事と考えている。



山口佳子議員

# 女性の視点を生かした防災対策について

能登半島地震では、インフラの復旧が進まず、苦しい避難生活が長期化され、様々な課題も出てきている中、女性の視点を生かした避難所運営などが改めて求められている。当町においても、普段から現場を肌感覚で知っている女性の役割を最大限に生かした「防災対策」の整備が必要だと考える。

◆質問／避難場所、指定避難所、福祉避難所は把握しているか。

■町長／「外ヶ浜町防災

マップ」に記載している。

◆質問／大規模災害発生直後は、役場職員も被災しているため行政機能が低下してしまうことから、避難所運営に共助の力を発揮するため「避難所運営マニュアル」を策定すべきと考えるが、その見解は。

■町長／今後、策定していく。

◆質問／マニュアルの中に「女性の視点を生かした環境整備」を取り入れていただきたいが、その見解は。

■町長／マニュアルを作成した際には、できるだけ「女性の視点」を取り入れていく。

◆質問／今後、町の備蓄

品を検討する際「女性の視点に立った支援物資」も取り入れるよう推進していただきたい。水不足を想定する上で「哺乳びん用インナーバッグ」の追加備蓄を要望したいが、その見解は。

■総務課長／町の備蓄品として女性の視点に立った物資はなかったたので、今後取り入れるようにしていく。「哺乳びん用インナーバッグ」を備蓄品



哺乳びん用インナーバッグ

# 女性の視点を生かした「避難所運営マニュアル」を策定すべき

## ■答弁▼町独自のマニュアル作成を検討してまいりたい

として追加する。

◆質問／地域を肌感覚で知っている女性の視点を防災対策に生かすため、今後「女性防災リーダー」を育成する計画はあるか。

■町長／前向きに検討する。

## 人口減少を防ぐ対策について

外ヶ浜町は2050年時点での15歳64歳の生産年齢人口が2020年に比べ80・5%減となると予想され、町民から不安な声寄せられた。

◆質問／外ヶ浜町の人口減少の実態と、それを食

い止める施策はあるか。

■町長／人口減少は「人口流出」と「少子化」の二つの要因が考えられる。対策には子育て支援として学校給食無償化を実現。その他「外ヶ浜町ひとしごと創生ビジョン」に基づき取り組みを進める。

■再質問／定住を図るためには、新たな公共交通の導入も施策のひとつになると考える。J Rが実験で走らせているデマンド型タクシーを、実験終了後も当町において残していただきたいが、その見解は。



福井洋一議員

外ヶ浜中央病院の医師確保を

◆質問①／中央病院には、

我が町の町民、蓬田村民、今別町民の方々も外来診療、入院治療を受けている。医師確保の要請する場合には、蓬田村民、今別町長と東郡選出の県会議員と一緒に要請すること、より中央病院の重要性、地域の危機感を理解してもらえると考えるが見解を伺う。

■町長／両町村には診療所があり、医師の確保については容易ではないことを承知していると思う。外ヶ浜中央病院は外ヶ浜町の病院であることから、

町民に信頼され、親しまれる役場に

■答弁▼優しく、信頼される役場を目指す

外ヶ浜町単独で医師確保に向けて取り組みなければならぬと考え、両町村との協議には今のところ至っていない。

◆再質問／町長は、秋山院長、近隣町長、知事も含め提案していきたいと答弁をしている。町長は、病院の開設者として、町民の声、蓬田村民、今別町民の声を重く受け止め、どんな方法、形であれ医師確保のため奔走すべきだと考える。早期に医師確保に向けて、蓬田村民、今別町長や東郡選出の県会議員と一緒に要請することを現実としていただきたいと考えるが。

■町長／今まで、弘前大学病院には病院の医師の



外ヶ浜中央病院

関係でしかチャンネルがなかったことから、秋山院長を通じてお願いしたところである。外ヶ浜町が中心になっていくこと

で、特段問題はないというふうには思っている。

◆再々質問／現在、新病院建設の計画が凍結されている状態にある。新病

院建設にかかわる決断の目処を2、3年が現実なところと答弁をしている。新病院建設の目処については、医師確保ができてから決断するのか、それにかかわらず決断するのか。

■町長／ある程度医師確保の目処がついたあたりで、新病院を建設していきたいと考える。

◆質問②／1月26日、弘前大学、県立中央病院、青森県の3者が、医師派遣や配置に関する目的に協定を締結したという報道があった。このことが中央病院の医師確保に結びつくと考えているのか伺う。

■町長／この連携につい

ては、このような場が必要と私自身も望んでいた。

外ヶ浜中央病院の医師確保にも結びつくと思いを期待する。

◆再質問／青森県の医師不足は厳しい水準にあり、八戸、西北五、上十三、下北が医師少数区域に該当するとしている。外ヶ浜中央病院に特別に配慮し、医師派遣を望むことは非常に厳しいと考える。日常的に医師確保に向けて、重大さ、必要性の熱量を増やしていくことが大切だと考える。医師確保に向け、行政も議会も、近隣町村が一丸となって大きく熱量を増やすことが必要と考えるが。

■町長／青森県としても、この地域だと救急車がないことを許しておくわけがないと思っている。外ヶ浜中央病院の救急の復活に関しても、今回の3者協定が大いに効果を発揮するものと期待をし

役場の機構のあり方について

ている。

◆質問①／町民から、役場に行っても挨拶がなく、本庁、支所を問わず庁舎内に入りづらいという声をよく聞く。町民に対する窓口対応、電話など、町では役場職員の接遇マナーの取り組みを行っているのか。町民の皆さんに信頼され、親しまれる役場であってほしいと考えるが、見解を伺う。

■町長／職員は青森県自治研修所で接遇研修を受けており、意識とスキルの向上に努めてきた。職員の対応が不十分であったと考えられる。今後は、一層町民に親しまれるよう、明るく元気な挨拶を心がけるように、全庁を挙げて取り組むよう周知徹底をしていく。

◆再質問／山崎町長に挨拶に伺った際、職員の挨拶があまりよくないという話になった。あれから5年が経過しているが、役場職員の挨拶、接遇マナーが改善していると考えているのか。役場の職員数が減少し、仕事が忙しくなっていることは理解するが、町民が主体の職員であってほしいものである。町民が気楽に来庁でき、用事が解決され、役場にきてよかったと帰ってもらえることが、普通、当たり前になってほしいと考えるが、見解を伺う。

■町長／職員の対応が改善されているか、こちらは一進一退だと考える。庁議などで、私からも結構な頻度で挨拶について話をしている。教育長からも挨拶の指摘があった。まずは課長等の管理職から部下に指導していくことが一番だと考える。

◆再々質問／多くの自治

体で、明るく挨拶をし、お客様の立場になり、親切をモットーに仕事をしていくために、人材育成基本方針や条例制定をしている。外ヶ浜町でも、町民が幸せと感じる役場を目指すために、他市町村に学び、人材育成基本方針や条例制定をしていくべきだと考えるが。

■町長／基本的に昨今の社会情勢の複雑化であったり、多様化がある。時代に合わせた行政サービスをつくっていくことが必要なこと。統一性も大事と考えるが、形式だけにとらわれず、住民の皆様から信頼されることが一番であると考えている。

◆質問②／令和元年6月定例会の一般質問の中で、町長は行政組織について町の事務改善委員会で検討を進めていきたいとして、住民の利便性や行政の効率化・スリム化を図るために、住民課・福祉課の

ワンフロア・ワンストップサービスが望ましいと答弁している。あれから5年以上が経過している。その後の経緯や経過は、役場の行政機構がどうあるべきだと考えているのか伺う。

■町長／住民課・福祉課ワンストップサービス、ワンフロア化について、コロナ禍前に検討したものの、どこかの部署が出て行かない限り、物理的に難しいことから実施を先送りし、当時、移動する可能性が高いとした教育委員会の体制も検討中となっている。もう少し時間をかけて慎重に進めべきと考える。





# 水産物鮮度保持施設「すがま」の稼働状況は

■答弁 ▼製氷機2基のうち1基が故障していたが  
現在は2基稼働している

◆質問／外ヶ浜町水産物鮮度保持施設設置及び管理条例により設置されて

いる、平館今津地区にある「すがま」は、2基ある製氷機が故障のため1



外ヶ浜水産物鮮度保持施設「すがま」

基しか稼働していないと聞いているが、いつからこのような状況になって、現状はどのようなになっているのか。

めの部品も不足してきている。そのためすぐに修理することができず、1基しか使えない状況が続いていたと聞いている。

について考えると、この契約を結んでいる。製氷の量に関してだが、全体で36万4900キログラムである。1枚50キログラムのコインの月ごとの売り上げ枚数は、全部で7298枚である。一番多いのが12月で1485枚、ホタテの出荷時期は6月が655枚、7月が521枚、8月が815枚と、他の月よりは多くなっている。

■町長／この施設は、2基とも平成9年に建設された施設である。指摘のとおり、2基ある製氷機のうち1基が、令和5年12月から令和6年1月まで故障していた。現在は、修理をして2基とも稼働している。

町の施設で、この施設の根本的な機能である氷を作ることはできない、そのような修理について町はどのように関与しているのか。全部を指定管理者である漁協に任せているのか。また、漁獲物の鮮度保持を目的としてこの施設ができていながら、氷の出荷状況はどうなっているのか。

◆再々質問／設置から25年が過ぎており、修理に必要な部品を探すのが大変な状況になっているという中で、1基しか使えなくなってきたときに、ホタテを集荷しに来た業者に十分な氷を与えることが

◆再質問／故障した1基の修理ができて、現在2基とも稼働しているということだが、この施設は設置から既に25年が経過している。2基の製氷機はどちらもたびたび故障してきたが、修理するた

■産業観光課長／修繕に関して、細かい部分は漁協で対応している。大規模な修繕については、両者で話し合っており、その対応

生徒たちの反応はどうだったのか。  
■教育長／まず、参加者を空港で出迎えて、人が変わったような目の輝きがあつて、すごい変化だなと感じた。発表会では、海外へ初めて行って体験した異文化、多様性を感じ、本当に充実した研修の様子を報告してくれた。後輩たちも真剣に聞いていたので、しっかりと感じ取ってくれていたと思う。

できるのか。

■産業観光課長／製氷能力は1日4・2トンというところになってはいるが、最悪の場合は、若干コストは高くなるが、蟹田に水を仕入れてバックアップする体制がある。

◆質問／条例の目的は、漁民等への氷の安定供給により、漁獲物の鮮度保持および魚価の維持向上を図る、となっているが、現状を踏まえ、機械、建物等を新たに造っていく考えはあるか。

■町長／将来的な更新も今後は見越し、見積もり依頼をしている。総合的な対策を講じる案件であることから、漁業者や漁協と協議しながら検討していきたい。

◆再質問／蟹田の仕入れた氷と「すがま」の氷の質に違いがあり、鮮度保持のためには角のない「すがま」の氷が良いと聞いている。蟹田の貯氷

能力はどれくらいあるのか。見積もりはいつごろできて来るのか。

■産業観光課長／蟹田の貯氷能力は、120キログラムの氷柱を最大54本で、約6・5トンとなっている。「すがま」は1日20トンの貯氷能力となっている。見積もりは3月末にはおおよその案が出来てくると考えている。

◆質問／中学生の海外研修事業について、感想と今後の取り組みは。

■町長／この事業は、ふるさと納税寄付金を活用した教育のための国際交流プログラムである。コロナ禍により延期され、ついに今年度実現した。具体的な内容は、広報や行政報告している。研修後の生徒たちの目には大きな輝きがあつて、交流先の校長も、今後の交流継続を望んでいる。将来的な展望としては、外ヶ浜町と台湾との交流を深

め、異なる文化に対する理解を促進する一翼を担うことが期待されると思っている。この研修が子どもたちの将来に大きな糧となると信じているので、今後も計画通り続けていきたいと考えている。

きな一歩をしるすことができた。中学2年生が自分たちの意思で参加、不参加を判断したということ。参加した生徒は大きな気づきがあつたと感想を述べていた。これはとても大事なことで、実際に現地に行かなければ得られない感覚だったと思う。発表会を聞いた他の

◆再質問／この事業は、我が町の教育の歴史に大

う。

◆再々質問／今回の中身をさらに充実させたいというものはあるか。

■町長／交流した中学校は、テクノロジーに特化した学校だった。国際交流にも力を入れていて、私たちが歓迎してくれた。今後は、ネットでの交流をして不安をなくし、より多く、みんなに体験していただきたいと考えている。



台湾の生徒たちとの交流の様子



横山拓雄議員

# 町内体育施設の今後は？

■答弁▼各地域の施設を集約し、

取捨選択していかなくてはならない

## 外ヶ浜町体育施設について

◆質問①／近年、町内体育施設の老朽化が目につくが、今後、体育館の改修予定は。

■町長／蟹田体育館は、5年前に屋根改修工事をしたが、また雨漏りしているので、部分補修の実施を計画している。三厩体育館は、8年前に屋根補修工事をしたが、現在サビの規模から屋根の全面張り替えが必要で、改修費が高額になることから、修繕する目処が立っていない。

◆再質問／体育施設は避難所としての役割もあり、

今後、目処を立て、改修していく必要があるのでは。

■町長／体育館は、3町村が合併し各地域にある。今後を見据え、役場の機能を有した様々な施設を集約し、取捨選択していかなくてはならないと考えている。

◆質問②／記録的な暖冬と少雪により、屋外体育施設も早期に利用可能ではないか。

■町長／一本松地区公園野球場は、照明改修工事が3月25日に終了し、その後、グラウンド整備と防護パッド等の補修を予定している。4月1日からの利用を予定していたが、安全に使用するため

の補修工事が終了次第と考えている。

◆再質問／今後も少雪傾向で推移するか未確定だが、少雪で地面が見えてくるときは、グラウンドを使いたいという声もあつた。今後、柔軟に対応していく必要があるのでは。

■町長／臨機応変に対応し、3月の時点で雪がないうようなときは、早めに開放することも考えていく。

## 小・中学校部活動地域移行について

◆質問①／蟹田小学校において、部活動が地域移行となったが、対応する

地域クラブ等の受け皿が少ない。町ではどう考えているのか。

■町長／当町にあるクラブチームは少年野球のみで、教育委員会としては、ニーズに合ったスポーツ・文化芸術活動の機会を確保する環境整備は急務であり、地域で子どもたちを育てる体制を構築し、近隣町村や関係機関と協議・検討していく。

◆再質問／町内でも、地域移行にばらつきがあるように感じるが、各学校の部活動活動状況は。

■学務課長／蟹田小学校の野球、卓球、ミニバスケットの3つの部活は2月29日で部活動を終了している。三厩小学校はス

ポーツ部。蟹田中学校は軟式野球部、陸上競技部、バスケット部、卓球部の4つの部活。三厩中学校はスポーツ部とバスバンド部の2つの部活が活動している。

◆再々質問／児童生徒の減少や指導員の確保など、様々な課題がある。今後検討委員会を設置する中で、東青一丸となって検討していく必要があるのでは。

■学務課長／来年度、外ヶ浜町部活動地域移行検討協議会を設置する予定で、その中で他町村とも連携して協議し、関係機関、関係町村と一緒に地域全体で考えていきたい。



柳谷隆男議員

# 全町民対象に避難訓練の実施を

■答弁▼町が広範囲であり多数の職員配置で困難

## 観光（見る・食べる・遊ぶ）の充実について

◆質問／当町に訪れる方を心地よい環境で迎えるため、トイレ内をきれいに維持していただきたい。

■町長／当町の観光政策の中でも重要な政策の一つであると考えます。トイレの管理については週3回程度で清掃委託を実施している。壊れた便器については優先順位をつけながら改善に向けて取り組んでいく。

◆再質問／昨年、三厩義経海浜公園のトイレが閉まっていたが、今年の夏はどうなるのか。

■町長／あじさいロードは県管理の道路なので、可能な限り細やかな対応をしてくれるよう県に要望する。

◆要望／私が三厩支所に

がかなりかかる件であり、年度初めには開設できませんが、調査してどのように修繕していくか考えていく。

## あじさいロードの「あじさい」の手入れ

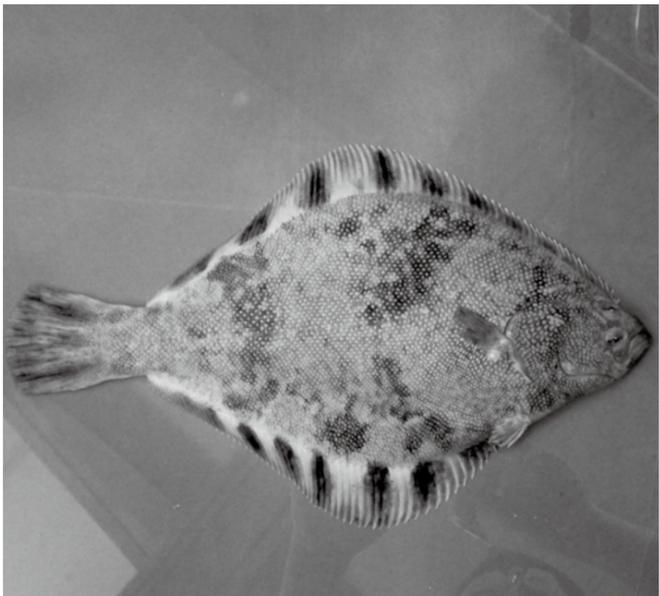
◆質問／15キロにわたるあじさいロードの中で、ツタが絡んだり雑草が伸び放題で景観的に残念な場所があるので、春先に手入れし、きれいに咲けるように。

勤務していたとき、環境整備作業員があじさいロードに出向き手入れしていたので、引き続きの配慮をお願いしたい。

## 「食べる」観点から2点

◆質問／地元産のホタテやマツカワガレイなどをを使った料理コンクールを実施し、入賞作を町内の道の駅や食堂で提供できないか。

■町長／観光地を訪れる際、そこでどんなおいしい料理を食べることができるといのが観光地を選ぶ大事な要素の一つとなっている。マツカワガレイは地元の業者で「醤油麹漬け」等を開



三厩地区で養殖されているマツカワガレイ

発し、県内外に出店して好評である。議員指摘の料理コンクールの開催等の検討も含め、観光客に提供できる具体的なメニューの開発に向け取り組んでいく。

◆質問／学校給食で日本一になったメニューを道の駅や食堂のメニューとして訪れた方々に提供できないか。

# 採決結果

令和5年度（4月～3月まで）に審議された起立採決時の採決結果を公表します。  
○=賛成 ●=反対 議長（鈴木 進）は、賛否が同数の場合のみ議長採決。

各定例会	提出議案	議員名													
		横山拓雄	山口佳子	柳谷隆男	福井洋一	浜谷恭市	木浪昭修	戎修	石岡勉	安藤英博	三上満	鈴木進			
第146回定例会（9月）	令和4年度外ヶ浜町一般会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	令和4年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—	認定
	令和4年度外ヶ浜町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—	認定
	令和4年度外ヶ浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
第149回定例会（3月）	外ヶ浜町議会議員の請負の状況の公表に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	再審法改正の意見書に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
	令和6年度外ヶ浜町一般会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和6年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和6年度外ヶ浜町介護保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和6年度外ヶ浜町後期高齢者医療特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	

石川県中能登町と台湾へ義援金を送る

平成26年に、行政視察で当町議会が中能登町議会を訪問し、平成27年には中能登町議会が当町議会を訪問するなど、かねてより交流のあった中能登町が、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により甚大な被害を受けました。当町議会は、中能登町に対して義援金を送りました。

また、令和6年4月3日に発生した台湾地震について、当町議会は青森県日華親善協会を通じて義援金を送りました。

被害に遭われた方々に対しまして深くお見舞いいたしますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 一般質問 柳谷隆男議員

■町長／給食甲子園で優勝したメニューの中から「風太鼓汁」については、平館の道の駅で提供してもらったが定着しなかった。調査研究をし、お店がメニューとして定着するように考える。

### 「遊ぶ」観点から2点

◆質問／蟹田、平館、三既の海水浴場は、水質も良く透明度が高い。長期天気予報では、今年の夏も昨年のような猛暑になりそうなので、海水浴客が多く訪れるのでは。そこで、3海水浴場のトイレとシャワーの故障の現状は。

■町長／蟹田は、男子小便器4基、大便器3基で、うち2基が故障。女子の便器は6基で、うち1基が故障。シャワーについては男女ともに3基あり、ともに1基故障。平館は、シャワーが男女2基ずつ

だが、温水ボイラーが故障しているので無料で使用させている。三既は故障はない。

◆再質問／快適に迎えられるよう、故障箇所を修繕してほしい。

■産業観光課長／平館の温水シャワーは古いので、修理する部品がなく無料で使用させることになる。トイレについては、少額であれば委託先で修繕することになっており、大きい修繕がある場合はこちらで対処するよう検討したい。

### おだいばオートビレッジと龍飛崎シーサイドパークについて

◆質問／両施設の令和4・5年の宿泊者数と、今後の修繕予定箇所はあるか。

■町長／おだいばの宿泊客は、令和4年が3296名、令和5年は364

1名。修繕箇所は、コートジ10棟の木製部分の経年劣化や家電製品が古くなっており、対策しなければと考えている。龍飛崎の宿泊客は、令和4年が813名、令和5年が673名で、この施設も建設後大分経過している。日々の点検の中で優先順位をつけて対応していく。

### 備蓄品の飲み水等提供できるか

◆質問／当町の海岸線に住む方々に、大地震発生とともに津波が来るのが想定されるので、全町民対象に避難訓練を実施してほしい。

■町長／外ヶ浜町が飛び地であるため、実施範囲が広範囲にわたる。また、多数の職員を同時に配置することが難しいことから、同時の実施は非常に困難と考える。町の取り

組みとしては、各自治会や自主防災組織単位で行っていただき、そこに防災担当の職員を出席させたい。

◆質問／避難場所となる小学校、中学校の授業中に大地震が来た場合、受け入れ態勢はどうなるか。

■町長／小中学校が授業中に発生した場合も学校に対応していただき、体育の授業をしていたとしても、体育館を開けてもらい使わせていただく

とになる。

◆再質問／備蓄品のアルファ米や飲み水に賞味期限がある。各地区で自主的に避難訓練をした場合、提供できないか。

■総務課長／賞味期限切れのものをローテーションさせて使用しないと、ただ捨てることになるので、利用するほうが望ましいと思う。相談があったら、消費期限が迫っているものを提供できると思っている。



外ヶ浜町役場に備蓄されている飲料水・非常食

# 議会にお越しく下さい



外ヶ浜町議会では、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と、不定期で開かれる臨時会が開催されます。

定例会については、町内放送でも町民の皆さんにお知らせしています。会場には傍聴席があり、議員による一般質問や、事前に提出された議案の審議を見聞きすることが出来ます。

外ヶ浜町の置かれている状況や、今後に向けての対策や政策の提案、それらに関する議員と行政とのやり取りなど、活発な議論が行われております。

**ぜひお越しく下さい！**

※感染症対策として、原則マスク着用とし、傍聴席は一つずつ空けて座っていただいております。

## 『みなさんの声』 お寄せください

議会だよりでは、議会に関するご意見やご質問、議会だよりへの要望など、『みなさんの声』を募集しています。

例えば：

- ・文字が小さくて読みづらい、見出しをもっと見やすくしてほしい。
- ・質疑についてももう少し細かく教えてほしい。
- ・議会で検討するとされた答弁の、その後を知りたい。
- ・他市町村の議会だよりのように、町内の家族や町民の紹介記事も入れてみてはどうか。

など、どんな『声』でもかまいません。よりよい議会だよりを作るために、どうぞ議会事務局（31-1230）までお寄せください。いただいた『声』は、紙面にて掲載させていただくこともあります。その際はご連絡させていただきます。

議会広報特別委員会

## 編集後記

元日から、ずいぶん各地で地震が頻発している。一日も早い復興を願うばかりだ。

我が町でも、行政でできる災害対策は万全を期さなければならぬ。

一方、各地区の自主防災組織の構築は遅れていると聞く。災害発生時の初動として、地域コミュニティの活動は非常に大きい。

そのため、我々議員ひとりひとりもそのための役割を果たしていかなければならないと、改めて痛感しているところである。

三上満

## 議会広報特別委員会

委員長：福井 洋一

副委員長：横山 拓雄

委員：山口 佳子/柳谷 隆男

浜谷 恭市/石岡 勉

三上 満